



**みんなが少し意識して変えるだけで、
熱中症被害は防げる。**

熱中症は、予防できる気象災害です。

官民が共同で、熱中症予防を呼びかけていく国民運動、
それが「ひと涼みしよう 熱中症予防声かけプロジェクト」です。

大隅肝属地区消防組合 は

熱中症予防声かけプロジェクトに参加しています。

大隅肝属地区消防組合から、みなさまへ大切なお知らせです。

朝晩は過ごしやすくなってきたものの、大隅地方では日中を中心に、まだまだ厳しい残暑が続いています。

この時期は「もう秋だから」「真夏は過ぎたから」と油断しがちですが、夏の疲れが蓄積していることもあり、熱中症による救急搬送のリスクは依然として高い状態です。

本消防組合では、官民一体で熱中症予防を呼びかける「熱中症声かけプロジェクト」に協賛し、地域一体となった熱中症対策を推進しています。

熱中症は、一人ひとりの意識とお互いの「声かけ」で防ぐことができます。ぜひ、周囲の方へ以下の声かけをお願いいたします。

「**のどが渇く前に、飲んでる？**」（こまめな水分・塩分補給の徹底）

「**まだ暑いから、エアコンつけようね**」（室内での適切な冷房使用）

「**無理しないで、ちょっと休もうね**」（高齢者や屋外作業者への気配り）

大切な家族や隣近所の健康を守るため、地域全体で「声かけの輪」を広げ、この残暑を安全に乗り切りましょう。

もしも、強いめまい、頭痛、吐き気などの症状があり、「いつもと違う」と感じた場合は、ためらわずに**119番通報**を行ってください。

